

国際平和デー（2025年9月21日）100日前メッセージ

9月21日の「国際平和デー」まで残り100日となりました。

「国際平和デー」は、全ての国と人々の共通の理想である国際平和を記念し、推進するために国連が定めた日であり、平和の大切さや尊さを考える重要な一日です。

本年の「国際平和デー」のテーマには、「平和な世界のために今行動しよう（Act Now for a Peaceful World）」が掲げられ、不安定な世界情勢が続く中で、私たち一人一人が平和のために果たすべき役割があることを認識し、日常生活の中で具体的な行動を起こすことが求められています。

平和首長会議は、本年も「国際平和デー」の趣旨に賛同し、166か国・地域の8,487の加盟都市に対し、広島・長崎に原爆が投下された8月6日と9日、そして9月21日の「国際平和デー」に、市民が改めて平和について考え、具体的な一歩を踏み出すきっかけとなる取組を実施していただくよう呼びかけます。

異なる価値観や意見を尊重する、差別や暴力に声を上げる、平和について語り合う、地域でボランティア活動に参加する、持続可能で人権を重視した選択をする、こうした日々の生活の中でできる市民一人一人の小さな行動の積み重ねが平和な未来を築く礎になります。

被爆80周年を迎える本年、こうした市民の主体的な活動を支える環境づくりのため、平和首長会議は、加盟都市の皆さんと共に市民社会に平和文化を根付かせる取組をより一層推進していきたいと考えています。

本日から「国際平和デー」までの100日間、改めて、各加盟都市が心を一つにし、各地域で平和文化の振興に取り組み、世界中の市民と共に核兵器の廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向けて歩みを進めましょう。

2025年6月13日

平和首長会議会長

広島市長 松井 一實